



ふれあいネットワーク

ゆり

# 社協だより

2023年  
7.27  
No.71



ありのみ保育園(旧西庄内保育所)の園児とサッカー選手の交流

## もくじ

令和4年度事業報告(概要)……………	2	相談支援コーナー……………	9
令和4年度収支決算報告……………	3	地域貢献事業コーナー……………	10
福祉のひろば……………	4	寄付のお礼……………	11
地域コーナー……………	5~7	お知らせ……………	12
包括だより……………	8		



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

## 全体概要

近年、核家族化や少子高齢化の急速な進行等によって、地域の中で住民同士のつながりが希薄化し、個々の課題が複雑化・多様化しています。加えて、令和4年度は長引くコロナ禍の影響により、本来の事業展開ができず非常に厳しい運営が余儀なくされた1年間でした。

そうした中ではありましたが、新型コロナに係る特例貸付金の償還手続きが開始され、返済が困難な債務者への免除申請や給付金の相談等の業務に取り組んだほか、新たに大分市成年後見センターの由布市における中核機関としての一時相談窓口業務を始めました。

また、重層的支援体制整備事業への移行準備事業の他機関協働事業に職員を配置して事業を開始し、制度や組織の枠組みを越えての情報共有や業務の取り組みを進めました。

9月には台風14号被災者の生活復旧にむけて、災害ボランティアセンターを開設し、多くのボランティアの支援により16件のニーズに対応することができました。

さらに、今後の地域福祉の指針となる「ささえあい つながり 共に生きるまち由布市」を基本理念とする「第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画」(令和5年度～令和9年度)を由布市とともに策定しました。

## 主な活動報告

法人運営	福祉機器の貸出	総合相談支援・障がい児・者相談事業
理事会 3回 監事監査 2回 評議員会 2回	高齢者や障がい者等の方が自宅で安心して過ごせるように、ベッドや車いすの貸出をしました。 ベッド貸出 21台 車いす貸出 26台	心配ごと相談 15件 障がい児・者相談 598件 包括支援センター相談 5,651件 生活困窮者自立支援 新規124件
福祉サービス利用援助事業	福祉バスの運行	募金運動の推進
判断能力が不十分な方へ福祉サービスの利用に関する援助や、日常生活費の金銭管理のお手伝いをしました。 利用者 32名 328回	福祉団体等の研修、各種行事等に活用しました。 25回 318人	共同募金・歳末たすけあい募金等を推進し、地域福祉事業へ配分しました。
生活福祉資金貸付	ふれあい郵便	ボランティア支援・援助
低所得世帯に対し、資金の貸付を行うことにより、生活の安定を図りました。 相談受付 3件 貸付 3件	75歳以上のひとり暮らしの方へお便りを届けました。 年4回 3,874通	ボランティア団体・個人の活動振興や情報共有、交流を図るとともに、若い世代にも「福祉の心」を育てるよう支援しました。
福祉推進員の委嘱	広報誌の発行	社会福祉大会
各自治区に福祉推進員を委嘱し、民生委員児童委員や関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域社会を推進しました。	社協だよりを発行し、社協の事業紹介・進捗状況や、寄付金、募金のお礼などを掲載しました。発行回数 年4回	永年、社会福祉事業に功績があった方を称え表彰するとともに、社会福祉の進展を図る目的で大会を実施しました。
見守り活動	各種団体との連携	友愛訪問
登下校時の子ども達の安全を願い、見守り活動を民生児童委員、老人クラブ会員で実施しました。	民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会連合会・ボランティア連絡協議会との連携を図りました。	民生委員児童委員、老人クラブ会員による訪問活動を行いました。
配食サービス	生活支援体制整備事業	介護保険事業
65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯で、自分で調理や買物ができない方を対象に食生活の改善と健康増進を図り、併せて、配達時に安否確認を行いました。	高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援等サービスの提供体制に向けたコーディネート機能を果たしました。	居宅介護支援／通所介護 介護保険を利用して住み慣れた地域で、暮らし続けられるように支援させていたっています。



# 社会福祉法人由布市社会福祉協議会の令和4年度事業収支決算状況を報告いたします

社会福祉法人由布市社会福祉協議会 会長 大野 茂喜

## 令和4年度 決算報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	210,477,791	流動負債	17,618,006
現金預金	190,144,616	事業未払金	15,142,649
事業未収入金	18,684,026	預り金	826,208
立替金	0	仮受金	1,649,149
前払金	1,649,149	固定負債	1,932,000
固定資産	88,199,608	退職給付引当金	1,932,000
基本財産	10,048,940	負債の部合計	19,550,006
土地	48,940	純資産の部	
定期預金	10,000,000	基本金	10,000,000
その他の固定資産	78,150,668	基本金	10,000,000
建物	2,804,820	その他の積立金	68,205,717
車両運搬具	906,340	車両購入等積立金	18,623,630
器具及び備品	3,084,324	備品施設整備等積立金	49,582,087
ソフトウェア	365,307	次期繰越活動増減差額	200,921,676
福祉資金貸付金	684,000	次期繰越活動増減差額	200,921,676
退職給付引当資産	1,932,000	(うち当期活動増減差額)	6,064,054
その他の積立資産	68,205,717		
その他の固定資産	168,160	純資産の部合計	279,127,393
資産の部合計	298,677,399	負債及び純資産の部合計	298,677,399

### 法人事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	
会費収益	4,476,000
寄附金収益	4,060,195
経常経費補助金収益	68,915,488
受託金収益	136,147,208
貸付事業収益	0
事業収益	358,950
負担金収益	5,207,560
介護保険事業収益	92,835,674
障害福祉サービス等事業収益	3,261,280
サービス活動収益計(1)	315,262,355
サービス活動支出	
人件費	239,290,061
事業費	45,014,764
事務費	15,507,545
共同募金配分金事業費	7,179,485
助成金事業	2,296,000
負担金事業	2,675
減価償却費	2,298,940
サービス活動費用計(2)	311,589,470
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,672,885
サービス活動外収益	
受取利息配当金収益	9,464
その他のサービス活動外収益	2,301,710
サービス活動外収益計(4)	2,311,174
サービス活動外費用	
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,311,174
経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,984,059
特別収益	
固定資産売却益	80,000
特別収益計(8)	80,000
特別費用	
固定資産売却損・処分損	5
特別費用計(9)	5
特別増減差額(10)=(8)-(9)	79,995
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,064,054
前期繰越活動増減差額(12)	201,858,300
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	207,922,354
基本金取崩額(14)	0
基金取崩額(15)	0
その他の積立金取崩額(16)	0
その他の積立金積立額(17)	7,000,678
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	200,921,676

### 社会福祉法人由布市社会福祉協議会

#### 役員及び評議員名簿

#### 理事7名

役職	氏名
会長	大野 茂喜
副会長	瀧野けさ子
常務理事	秋吉 孝治
理事	土師 壽三
理事	江藤 実子
理事	生野 博文
理事	後藤 瑞穂

#### 監事2名

監事	志柿 正蔵
監事	衛藤 哲雄

#### 評議員10名

役職	氏名
評議員	後藤 義信
評議員	伊藤 重治
評議員	溝口 泰章
評議員	佐藤 清八
評議員	佐藤ひとみ
評議員	緒方 啓子
評議員	佐藤 幸市
評議員	原田 禎二
評議員	菊池 信子
評議員	武田 恭子

※令和5年6月23日改選

※令和5年6月6日改選

# 福祉のひろば



## 福祉推進員とは？

福祉推進員とは、住民に最も身近な自治会等の小地域において、福祉問題を発見し、解決のため近隣住民に働きかけを行い、民生委員児童委員などと協力して活動を推進していく、社会福祉協議会会長から委嘱された地域のボランティアです。

由布市社会福祉協議会福祉推進員  
委嘱状交付式及び研修会の様子



## 福祉推進員名簿

挾間		【任期】令和5年4月1日～令和7年3月31日																																
高山	七中	来来	来北	南	三古	古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之
七中	来来	来北	南	三古	古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之	
来北	南	三古	古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之			
南	三古	古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之				
三古	古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之					
古赤	海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之						
海丸	東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之							
東	崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之								
崎口	司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之									
司台	部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之										
部部	部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之											
部代	船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之												
船野	郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之													
郷野	毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之														
毛田	行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之															
行	佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																
佐後	藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																	
藤藤	幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																		
幹英	夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																			
夫一	朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																				
朴朴	木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																					
木木	下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																						
下上	安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																							
安安	部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																								
部部	しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																									
しの	しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																										
しの	喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																											
喜多	多	里	内藤	田本	すみ	之																												
多	里	内藤	田本	すみ	之																													
里	内藤	田本	すみ	之																														
内藤	田本	すみ	之																															
田本	すみ	之																																
すみ	之																																	
之																																		

庄内		【任期】令和5年4月1日～令和7年3月31日																					
畑み	どり	団	田	小	野	敬	治	柿	原	1	区	土	屋	美	恵	大	龍	西	部	麻	生	宗	俊
猪野	竹	ノ	下	日	隈	康	彦	柿	原	2	区	衛	藤	英	子	五	ヶ	瀬	瀬	森	田	洋	子
長野	原	治	野	藤	岡	貞	夫	野	畑	3	区	栗	林	友	江	龍	五	ヶ	原	奈	須	英	子
葛平	原	治	野	佐	藤	忠	由	野	畑	4	区	麻	生	淳	子	龍	五	ヶ	木	稻	垣	由	子
佐橋	原	治	野	土	師	美	佐	淵	5	区	森	山	正	義	櫟	五	ヶ	福	甲	斐	藤	均	子
甲斐	原	治	野	山	藤	義	教	淵	6	区	工	生	美	千	香	五	ヶ	口	加	尾	野	春	と
宇南	原	治	野	福	中	文	敏	日	7	区	藤	藤	裕	美	二	長	宝	団	地	左	藤	小	枝
小深	原	治	野	大	田	博	明	永	ヶ	暮	伊	藤	希	一	輝	な	ご	の	里	大	野	成	輝
雲	原	治	野	津	留	孝	人	伊	小	十	佐	藤	宜	美	子	小	野	透	屋	小	野	木	彦
小東	原	治	野	大	野	秀	人	高	津	野	大	塚	久	美	高	高	津	内	保	小	野	野	美
平下	原	治	野	伊	藤	正	治	中	出	村	山	山	俊	幸	久	瀬	中	尾	本	井	元	文	
中上	原	治	野	生	野	博	文	原	野	内	高	部	米	敏	子	宗	寿	寺	井	伊	藤	留	
袁	原	治	野	工	藤	官	行	井	直	重	安	河	嘉	文	六	竹	の	戸	伊	藤	留	典	
	原	治	野	佐	藤	久	男	上	野	山	河	法	幸	文	子	影	木	伊	藤	留	典	子	
	原	治	野	葉	丸	年	勝	直	龍	部	河	師	嘉	文	子	影	木	伊	藤	留	典	子	
	原	治	野	後	藤	雅	武	大	龍	部	河	野	香	代	子	影	木	伊	藤	留	典	子	
	原	治	野	後	藤	文	武	大	龍	部	河	野	省	三	子	影	木	伊	藤	留	典	子	

湯布院		【任期】令和4年4月1日～令和6年3月31日													
塚津	原	縣	ミ	子	荒	木	立	川	和	美	槐	木	日	野	ま
岳湯	江	加	幸	雄	石	武	山	本	直	美	畑	倉	野	り	
中佐	本	藤	正	威	光	永	赤	坂	博	美	奥	江	藤	子	
並土	坪	島	豊	子	東	1	森	柳	幹	子	上	良	本	郎	
若乙	島	山	尚	美	東	2	永	柳	子	子	下	川	藤	健	
乙丸	原	江	美	子	東	3	小	美	子	子	々	1	保	志	
乙丸	柳	浦	み	子	東	3	吉	子	子	子	々	2	年		
新新	杉	河	ど	子	西	松	志	手	子	子	々	3	邦		
	1	溝	り	則	山	崎	佐	藤	子	子	々	3	恭		
	2	轟	剛	剛	山	依	徳	永	子	子	々	3	嘉		
	3	立	子	子	中	依	大	限	子	子	々	3	悦		
	1	佐	男	男	下	依	甲	豊	子	子	々	3	豊		
	2	土	子	子	前	野	日	順	子	子	々	3	順		

## 福祉推進員の研修会

### 挟間地域

令和5年6月13日  
はさま未来館

挟間地域福祉推進員に  
委嘱状が交付されました。  
福祉推進員の役割や活  
動等の説明や人権擁護委  
員の講演後、各地区の民  
生児童委員との情報共有  
を行いました。



### 庄内地域

令和5年6月7日  
由布市役所

庄内地域福祉推進員委  
嘱状が交付されました。  
前民生児童委員から  
「地域住民の見守り方・接  
し方」についての講話後、  
それぞれの地区に班分け  
し、民生児童委員と「地  
域の現状」についての情  
報共有を行いました。



地区内での福祉活動の確認、近隣住民  
の体調変化や困りごとへの配慮、日常生活  
の中で感じる「気づき」にどう対応してい  
くかなどを話し合っていました。

## 民生委員・児童委員活動

### 学校訪問を行いました!!

各地域の幼稚園・小中学校を訪問しました。  
校長より学校概要を説明していただいた  
後、こども達の授業の様子を見学。その後、  
校長室で学校の状況や感じたこと等の意見交  
換を行いました。

民生委員・児童委員は学校とも連携をとり、  
子どもたちにとっても、住みやすい地域を目指しています!



挟間小学校での様子



川西小学校での様子



庄内中学校での様子

## 移動販売車の運行が始まりました

イオン九州では「初」となるイオン挟間店の移動販売出発式が  
庄内町の大津留地区で行われました。

生鮮品・惣菜などを含む食料品や日用雑貨といった約400品目  
をイオン挟間店から、移動販売車へ載せて販売します。

火曜日を除く平日に2つのルートを巡回します。大津留地区に  
お住まいでない方もお立ち寄りいただければ、ご購入できます。

ぜひご利用ください!



お問合せ先 イオン挟間店 TEL097-586-3800



# 地域支え合い推進会議

## 湯布院

### 第1回湯布院地域 ざっくばらんな茶話会

6月16日、支え合い推進会議では、集いの場のお世話役の負担軽減を目的に茶話会を開催しました。リラックスできるように、ゲームや笛の演奏で始まり、お茶を飲みながらサロンの様子や地域の状況など話し合いました。取り入れたい具体的な活動例、運営上の苦労話を聞き良かった。

少人数のグループで話し易く有意義だった。また開催してほしい。など意見をいただきました。会の最後には、ものづくりサロンの協力で抽選会も賑わい、お世話役同士の交流が深まったように感じました。



## 庄内

令和5年2月に開催した、地区に関係なく誰でも参加できる「庄内ちよこっとサロン」の様子を報告し、今後どのように運営していくかを協議しました。開催については多くの賛同者がいらっしゃったため、7月10日に第2回目が決定。サロン中心に、会員や近所の方へ声掛けをしてもらい、「外に出る機会」の創出を目指します。

また、庄内地域のサロン数増加に伴い、推進会議の委員数も増えていることから、地域を数ブロックに分けた会議運営の可能性についても説明。その他、世話役の交流会(慰労会・茶話会)についても協議し賛同していただきました。



## 挾間

6月27日、挾間地域では、お茶の間サロンの代表者・自治委員の地域別会長・ボランティア団体の会長など42名の参加で開催されました。

第1回目という事で、昨年の取り組みを振り返り、地域で安心して暮らすための協議、今後の方向性を見つけ出すためにグループワークを行いました。

地域での楽しさ・困り事など情報交換ができた時間となりました。

地域包括支援センター長より、「気軽に相談してほしい」という内容の講話もありました。

今後もつながりを保ちながら、安心できる環境づくりに取り組んでいきます。



令和4年5月21日に、挾間町喜多里自治区は、自治区内の危険箇所の確認を目的とした、防災会を実施しました。子供会から、保護者を含む約30名が参加し、自主防災会副会長・松田尚子防災士の案内のもと、一昨年の7月豪雨で土砂崩れが発生後、修復工事をした場所や、団地入り口の擁壁などを見学しました。地震発生時の身の守り方や、消火栓の役割、公民館の備蓄食料などの説明を受け、防災について学習しました。

10月には、防災会、子供会の協力を得て、花火大会を行いました。多世代の交流を深め、様々な世代が、自分たちの地域に関心を持てる活動に、「互近助コミュニティ」の助成金が活用されています。

ごきんじよ  
互近助  
コミュニティ





## 地域の集いの場

### サロン紹介

いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らしていけるよう、様々な工夫を凝らしたサロン(集いの場)が開催されています。近くのサロンに参加して、笑顔と運動でいつまでも健康で過ごしましょう。

#### 挟間 鶴田すこやかクラブ

由布市主催の「いきいき元気塾」に参加していた鶴田地区の3人が自分の地区で体操をしたいという思いから、昨年7月より立ち上げました。

試行錯誤の半年を経て、今年度「お茶の間サロン」に登録となりました。

シニアエクササイズを中心に脳トレ体操や言葉遊びなど、心地よい時間を過ごせると会員全員で楽しんでます。



#### 挟間 古野コスモス倶楽部

体力低下予防・健康維持のための卓球サロンです。玄関を入ると、笑い声が必ず聞こえてきます。卓球しては笑い、おしゃべりしては笑い、聞いているだけでも笑顔になれる居場所です。初心者でも大丈夫です。

一緒に卓球で健康維持したい方募集中です。



#### 庄内 橋爪健康サロン

地域の危険区域や、災害時の避難の仕方について由布市防災危機管理課さんを招いて「防災出前講座」を行いました。

緊急時に慌てないためには「普段からタイムラインを使いイメージすることが大切」と教えてもらい、最後は暮らしに役立つロープワークに挑戦しました。地域防災を考える有意義な時間になりました。



#### 庄内 みの草健康サロン

今年からお茶の間サロンとして活動中の「みの草健康サロン」は生きがい応援団の浦松さんによるレクゲームを行いました。肌寒い日でしたが、レクを楽しんでいると自然と運動量も上がり、汗をかいて上着を脱いでいました。会員さんの参加率も大変良く、これからも盛り沢山の内容でサロン開催をしていきます！



#### 湯布院 氣楽会

太極拳を通じて、ゆっくり、優しい全身のバランス運動を楽しみながら、健康づくりに取り組んでいます。運動していくうちに、穏やかな気持ちになります。天気の良い日は、自然の中で活動することもありステキなサロンです。



#### 湯布院 ハッピー

なつかしい昭和の歌に合わせて体を動かしたり、高齢者向けのかえうたを手拍子で歌ったり、おしゃべりが一番盛り上がるメチャクチャ楽しい元気なサロンです。会員数も増えており、さらに賑やかになりそうです。





# 熱中症 予防

今年も暑い季節がやってきましたね。夏といえばスイカに塩をパラパラっと…昔から水分と塩分を自然に補給する知恵ですね。

年を重ねると体内の水分量が少なくなるので、こまめに水分をとることが特に必要です。

熱中症予防のポイントをおさらいしましょう。

ほうかつ  
じつだより

気温28℃ 湿度50%が  
からだにやさしい



- 室内や夜間でも要注意！  
適度な風やエアコンで涼しく！
- のどが渇かなくてもこまめに水分補給！  
野菜や麦茶はミネラルもとれてオススメ
- しっかり食べて栄養をとりましょう
- 綿や麻の服で、風通し良くすごしましょう



こんな時はためらわずに  
救急車を呼びましょう!!

- 意識がおかしい
- 自分で水分がとれない

ふらつく  
まっすぐ歩けない

だるい

たちくらみ



## 認知症の心配ごとは 地域包括支援センター内



ひとりで悩まず  
まず相談  
ものわすれのこと  
えんりよしないでお話してね



ひまわり  
チーム



こんなこと  
ありませんか？

認知症の心配があるが  
どう受診してよいか  
わからない

認知症の症状が強く  
介護や対応に  
困っている

まずはお電話ください

### 由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4  
(由布市ほのぼのの工芸館)  
TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえんジャー



開所時間  
月～金曜日  
(祝日を除く)  
8:30～17:00



## 相談支援コーナー

今年の1月から、由布市社会福祉協議会では、民生委員児童委員協議会の定例会の終了後に立ち寄れるように「ちよっと気が楽になる相談の場」の提供として相談支援・出張相談窓口を開いています。

対応する職員は社協相談支援課、地域支援課、地域包括支援センターの職員です。

当相談会を始めた1月から4月までの間で、延べ26名の民生委員・児童委員の皆様から30件の相談がありました。「相談できて良かった」との声を多数いただきました。

近所のAさんの様子がいつもと違って心配…



顔の見える関係づくりを



民生委員・児童委員の皆様には日頃から『声掛け』の構築、地域住民の変化に気づき、相談に繋ぐ活動を通じて地域福祉に貢献して頂いています。

これからも民生委員・児童委員の皆様と由布市社協の職員が連携を深めていくことができる機会を増やしていきたいと考えています。

### 相談支援課

直通電話・FAX開設のお知らせ

ご連絡は以下の電話をご利用ください。

直通電話 097-574-5786

FAX 097-574-5922

## 由布市社協では福祉体験教室をしています！

福祉意識の醸成を目的に市内の小中学校や各種団体を対象に訪問開催しています。開催1ヶ月前の申込で受付を行っておりますので是非ご検討ください。

### 募集

後ろ向きに下がるってこんな感じなんだ



下り坂はゆっくり下がる

- 高齢者疑似体験
- 車いす体験
- 障がい者スポーツ ボッチャ

思ったより見えにくい、動きにくいかも…



次、あそこを狙おう！



シンプルだけど、意外と面白いかも

昨年度は、由布支援学校の高等部3年生が「高齢者疑似体験」、西庄内小学校4年生が、「車いす体験」と障がい者スポーツ「ボッチャ」を行いました。

東京パラリンピックを見た小学生の意見で、「ボッチャ」は実施されました。「知っているよ！見たことあるよ！」でも…やってみないと分からないことがいっぱいあります。そんな授業・体験をしてみませんか？ お気軽にご相談下さい。

**申込み・問合せ** 由布市社会福祉協議会 地域支援課  
☎097-582-2756

## ゆふ支え愛こども食堂挾間



6月18日、由布川地域交流センターで「ゆふ支え愛こども食堂挾間」を開催しました。

この日のメニューは、ちらし寿司と魚のフライ、季節野菜のてんぷら、煮物でした。色とりもきれいにできました。食材の一部は「フードバンクゆふ」から提供していただいております。また、来場者には寄付していただいた米の配布もありました。

## ありのみ保育園と ゆふ支え愛こども食堂がコラボ



6月11日、ありのみ保育園の園庭解放日に「ゆふ支え愛こども食堂」がコラボ開催しました。

在園児童、卒園児童が久しぶりに一緒になって遊び、食事をしました。この日のメニューはみんなが大好きなカレーで、デザートはフルーツゼリーでした。お米、カレー、フルーツ缶は「フードバンクゆふ」から提供していただきました。

「ゆふ支え愛こども食堂」の情報は <https://yufu-keieikyoo.com> でご確認できます

## みどり牛乳販売店グループが 山家学園にイチゴミルク寄贈



みどり牛乳販売店グループでは子ども達を支援するために「6月1日牛乳の日 子ども支援プロジェクト」で今年は山家学園に「みどりイチゴミルク200瓶」が寄贈されました。これは、「子どもの日デザートキャンペーン」を実施し、1セット売り上げ毎に牛乳を1本、大分県社協を通して県内の子ども食堂、「児童養護施設」に支援するというプロジェクトに賛同した消費者からの受注によるものです。今後もサポートを続けていくとのことです。

## 元Jリーガーが来園 園児にサッカーの楽しさを教える



5月29日、元Jリーガーの井上祐大さん(大分↓長崎↓町田)、九州リーグJリースFCの選手(この日は宮地裕二郎選手)が地域貢献活動としてありのみ保育園に来園しました。

毎月2回、園児とサッカーボールで遊んだり、サッカーを教えたりしています。井上さんは「いつかトリニータで同期の清武選手(C大阪)と小手川選手(JリースFC)を連れてきます。」と言っています。実現を楽しみにしています。



# 寄付のお礼

## お礼

市民の皆様のおかげで芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。

ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。

令和5年4月1日〜令和5年6月30日までの受付分を掲載しています。

### 香典返し (敬称略)

#### 挟間

佐藤 一成	鶴 田	五〇、〇〇〇円
大窪 春男	時 松	金 一 封
佐藤 公教	海老毛	金 一 封
森永 雅士	下 市	金 一 封
小野 武	柏 野	三〇、〇〇〇円
平野 裕司	高 詰	金 一 封
佐藤 周太	高 崎	金 一 封
砂田 剛士	挟間中村	金 一 封
安部 誠	七蔵司	金 一 封
竹田 恵子	北 方	金 一 封



#### 庄内

古長 豊美	長 野	金 一 封
麻生 公市	柿原2区	一〇、〇〇〇円
江戸 京子	宇南水足	金 一 封
角上 明	野畑4区	金 一 封
佐藤慶一郎	東 家	金 一 封
田村 善人	大龍部1区	三〇、〇〇〇円
清田 強	雲 取	金 一 封
篠田 太	五 福	金 一 封
大塚 吉秋	栢ノ木	金 一 封
佐藤 吉克	栢ノ木	金 一 封
福田 充江	大龍部2区	金 一 封
小川 澄雄	五ヶ瀬	三〇、〇〇〇円
坂本 信人	柚の木	三〇、〇〇〇円
笠原 昭二	上武宮	金 一 封
佐藤由美子	蓼 草	金 一 封
久保佐夜子	蓼 草	金 一 封
山下 一成	畑 田	三〇、〇〇〇円
江渡 聖吾	深 谷	金 一 封
麻生 博昭	平 石	金 一 封
佐藤 政晴	柿原2区	金 一 封

#### 湯布院

小野 武俊	湯平3	金 一 封
土師 敬士	東石松3	金 一 封
大久保サキ	下 依	五〇、〇〇〇円
森山 顕	湯平1	金 一 封

#### 一般寄付 (敬称略)

#### 湯布院

22年民生委員同期会

ホワイトボード、自立式スクリーン



### 社会福祉協議会 ご寄付された方々 へのお知らせ

これまで個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、所得控除制度が適用されてきました。平成23年税制改正による新たな税額控除制度は、寄附金のうち2,000円を超える部分の40%を所得税から控除できるようになりました。(個人が、一定の要件を満たした社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、当該寄附金について、税額控除制度の適用を受けることができます。)

#### 税制改正前の寄附金控除制度

●所得控除  
(所得金額 - 所得控除額) × 税率 = 税額

#### 税制改正後の寄附金控除制度

●税額控除  
税額 - 税額控除額 = 納税額

★税額控除額の算出式 個人が支出した寄附金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式より算出された額が、所得税額から控除されます。

$$〔 \text{税額控除対象寄附金} (\times 1) - 2,000 \text{円} 〕 \times 40\% = \text{控除対象額} (\times 2)$$

※1 税額控除対象法人への寄附金額  
寄附金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

この額が所得税額から控除されます。

詳細につきましては、  
最寄りの税務署及び  
市の税務課にお尋ねください。

**お詫び**

親子ふれあいツアーの  
開催日の変更について

社協だより(No.70)でご案内しておりました親子ふれあいツアーの日程につきまして、8月6日(日)と掲載をしておりましたが、平和授業との兼ね合いから**8月20日(日)に変更**させていただきました。お問い合わせいただいた方に、ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。



**ボランティア**

実施期間：令和5年7月21日～令和5年8月31日



**体験してみませんか?**

**参加対象者**

- 県内の児童、生徒、学生
- 県内に在住または勤務する社会人及び中高年層

**受入施設**

**挾間町**

- 就労継続支援B型事業所 ノーサイド
- 若葉苑 ● 健寿荘
- ごとう医院通所リハビリテーション

**問合せ** 由布市社協 挾間事務所  
TEL097-583-4344

**庄内町**

- ありのみ保育園 ● 木埋学園
- 山家学園 ● 向陽学園

**問合せ** 由布市社協 地域支援課  
TEL097-582-2756

県内の学生・生徒及び社会人の方を対象に夏休みを中心とした一定期間、ボランティアな活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の福祉課題や地域課題にご理解をいただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進し、振興を図ることを目的とします。

**夏のボランティア体験月間のご案内**

各施設で受入れ条件(活動日・時間帯)が異なります。詳しくは社会福祉協議会備え付けのパンフレットをご確認ください。

信用と良い品で勝負!! 建材・金物・プロパンガス・住宅設備機器

**株式会社 プロテック麻生**

代表取締役 麻生 善則  
由布市挾間町挾間596番地  
TEL097-583-2233 FAX097-583-2234

車検・钣金  
塗装・一般整備  
各種新車  
中古車販売

車のことなら  
なんでもOK

お問い合わせ・お申し込みは **スズキセニアカー**

**有限会社 長井モータース** (夜間)  
由布市挾間町鶴田 ☎583-0106 ☎583-3281


**発行** 社会福祉法人 **由布市社会福祉協議会**

**本所** 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1  
TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878

**挾間事務所** 〒879-5502 由布市挾間町向原128番地1  
由布市役所挾間庁舎3階  
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

**湯布院事務所** 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地  
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

由布市社協 **公式Instagram** はじめました



市社協、地域団体、サロンの活動や、災害ボランティアセンターの取り組み等、写真を通して分かりやすくお届けしています。  
ぜひフォローをお願いします!

⑤YUFUSHI.SHAKYO